

## これから、お世話になります！



皆さん初めまして。愛知県の大府市というところから参りました、前川未来(まえがわみく)と申します。この度、地域おこし協力隊として活動させていただることになりました。

私の母方の祖父母の家が岐阜県中津川市の田舎にあるため、小さい頃から「将来は、田舎で暮らすんだ！」と非常に漠然とではありますが想いを抱き、「田舎」という環境に憧れを持つようになりました。しかし、なかなか実際に行動にしてきました。もともとモノづくりが好きということもあり、愛知県では専門学校を卒業してから約7年間、製本業という製造の仕事をしていましたが、ずっと何かモヤモヤとしたものを感じ続けていました。次第に、なにかを変えたいと思うようになり、「本当に自分がやりたい」とは何なのかを考えたとき、たどり着いたのが“田舎”への移住でした。今までの漠然としていたものが強い想いに変わり、現実的に考えるようになり、せっかく田舎へ移住をするのであれば、なにか地域の役に立てる仕事をしたいと思い、出会ったのが天龍村の地域おこし協力隊の募集でした。

私はこの応募をするまで天龍村のことを知りませんでした。まだこちらで生活を始めてから数週間ですが、村の方々のあたたかさや優しさを既に感じております。また、たっぷりの自然に囲まれ、人柄、土地柄ともに、なんて素敵なものだろうと嬉しい気持ちでいっぱいです。協力隊として、主に御用聞き(やまびこデリ)や買い物拠点に関する事業に携わっていきたいと思っています。買い物や外へ出かけることを通じて、みなさんにもっと豊かに生活を送つていただけるよう努力したいです。皆に恩返しをしていくつもりで頑張っていきますので、これからよろしくお願いいたします。

(文:前川未来)



はじめまして。今年の4月から協力隊で活動させていただいております大石です。地方創生に興味があり協力隊で活動させていただいております。

主に農業(野菜)を活動の中心にしようと/or>考えています。しかし現状、天龍村において農業だけで食べていくのはほとんど不可能に近いようです。しかしながら「こそ挑戦するべきで、若い人材が困難なことに対しても挑戦していく中で、行き詰つて迷う中で地域の人との交流が活性化していくのではないかと思いま

す。若い人が新しいことに挑戦し、村の経験豊かな方々から知識や技術を教えてもらいう。そのような相互の交流のなかに天龍村の活性化の鍵があるのでないかと思います。

私はじめまして。今年の4月から協力隊で活動させていただいております大石です。地方創生に興味があり協力隊で活動させていただいております。

文:治部 太一  
みなさん、はじめまして。治部太一と申します。簡単ではありますが自己紹介させていただきます。今年四七歳になりました。出身は北海道です。幼少期は酪農が盛んな十勝地方で過ごし、学生時代は流氷のまち紋別市という所で過ごしました。

その後就職を期に神奈川県で約二七年間生活しております。

趣味は山登りや釣り、マラソンブッシュクラフトなどアウトドア全般やっています。と言つてもそんなに本格的ではありません。

こんな私ですが、子育ても一段落つき、人生の折り返しを迎えるにあたり、どのような生き方が自分に合っているのか真剣に考えた結果、大きな組織の一員ではなく、自分の手の届く範囲で地域社会に貢献することが生涯を通じた生き甲斐になると思い、大きな決断ではあります。

天龍村ではやりたいことがたくさんあり、今後の活動の方針も具体的には決まっていませんが、現在住んでいる家や村内に点在する空き家の利活用を情報発信し、天龍村での暮らしをぶりを紹介し、多くの人に天龍村に関心を持ってもらいたいと考えています。それに合わせて、狩猟や養蜂、林業などにも挑戦したいと思っています。

ちなみに私が現在住んでいる家から見る風景が抜群のロケーションで、本当に来て良かったと実感しているところです。

天龍村に来て日が浅いので、いろいろな面でお世話にな

## ありが隊入隊しました！

松川友哉(まつかわゆうや)と申します。  
飯田市出身の三十三歳です。

活動の内容は、和知野川キャンプ場・味覚小屋の運営管理をやらせていただきます。まずは、キャンプ場を安心して利用いただけるよう整備、清掃に努めています。味覚小屋の利活用も検討しつつ、キャンプ場の売店にてコーヒーやお茶を提供したいと考えています。

妻と子供二人は、飯田市で生活しているため、行き来しながら二拠点で生活して参ります。夫の方々と、交流を深めたいと思いますので、ぜひキャンプ場へお越しください♪ 末永いお付き合いよろしくおねがいします！



- 好きな事
- ・食べる事
- カレー
- 珈琲
- ・車いり
- デコトラ
- ・音楽
- フェス



## 三月からの活動（文・篠田 大樹）

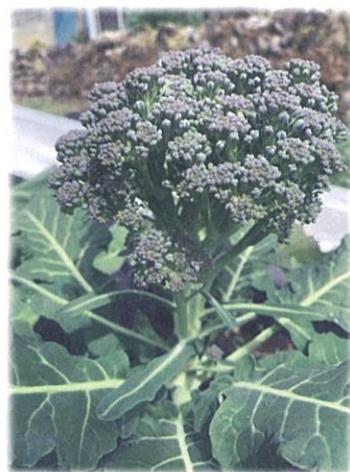
三月にはお茶畠の肥料撒きと春製枝も終わり、四月中には草取りやゴミ取りを完了させ、茶摘みの時を待ちたいと思っています。年間を通して一人で栽培管理作業をやって初めての茶摘みです。去年とはまた違った緊張感や楽しみがあります。また、紅茶用茶摘み体験ツアー内容を練り、参加募集も始めました、コロナの不安もありますが無事できると嬉しいです。



↑新芽が芽吹く茶畠 4月9日撮影



秘境駅号ツアーコーナー出店 四月十日撮影



↑ブロッコリー 3月29日撮影

野菜の方も畠ではブロッコリー、レタスが収穫できるようになります。ハウス内では夏野菜の芽が出始め、成長が楽しみです。四月には秘境駅号ツアーコーナーが開催され、たくさんお茶を買つてもらえているので嬉しいです。

4月になり、日中は春らしい日差しが暖かく気持ちがいいですね。今年は桜の開花もはやく、3月はお茶の新芽も伸びるのが早まっていましたが、4月に入つてからは朝晩冷え込む日が増えて成長がゆっくりになつてきました。「今年は4月の終わり頃から始まるかなあ」と、みんなそわそわしています。

さて、今年も私は中井侍製茶工場にて蒸しや粗揉の担当をさせて頂きます。1年間、製茶するこの日まで農家さんたちが手塩にかけて育てた茶葉を預かる大事な仕事です。特に「蒸しの工程でお茶の味はほとんど決まる」と言われているので、責任重大です。

製茶工場での勤務も早いもので3年目になりました。毎年製茶を終えたお茶を飲んだ後に感想をくれる農家さんが多いのですが、「今年も美味しいお茶にしてくれてありがとうございます。」という言葉が本当に心に沁みます。

今年も農家さんに満足して頂けるような仕上げにできるよう、気を引き締めて精いっぱいがんばります。

文：前田美沙

4月になり、日中は春らしい日差しが暖かく気持ちがいいですね。今年は桜の開花もはやく、3月はお茶の新芽も伸びるのが早まっていましたが、4月に入つてからは朝晩冷え込む日が増えて成長がゆっくりになつてきました。「今年は4月の終わり頃から始まるかなあ」と、みんなそわそわしています。



## 素晴らしい暮らし

新年度になり、春らしくなりました。草や虫が活発になり、良いことも悪いこともあります。やつぱり春は気持ちが明るくなります。今年は、山菜に注目し季節の味を楽しもうと思っていますが、庭に生えているゴゴミを見逃し、畠のタラの芽も収穫時期を逸して大きくなってしまいました。おひたしにして食べてみようと思います。

さて、作業の進捗ですが、大河内森林公園キャンプ場のオープントン、菌床シイタケの設備準備がほぼ完了し、キャンプ場は4月20日オープンで、菌床は少し遅くなりましたが、4月第4週目から涼しい日に接種予定です。

（記 片山 素晴）

